

第40回東海地区本部定期大会を開催



奥田委員長

9月28日（日）、稲沢市内において開催され、今後の運動方針が満場一致で可決されました。

大会議長に青島代議員（静岡支部）を選出し、大会を代表して挨拶に立った東海地区本部奥田委員長は、「9月10日あたりから9月17日にかけて、大雨等により列車が大幅に乱れ、現場は大混乱となったが、大きな事象も起きず改めて感謝申し上げます。

一方で、現場では要員不足が続いており、改善に向け取り組んでいかなければならない。同じJR産業で働く仲間の重大労災が続いている。明日は我が身である。改めて安全最優先の取り組みを強くお願いするとともに、暑さ寒さが入り交じる時期に入ること、体調管理が難しくなるが健康維持に勤めていただきたい。組織関係では、今、いろいろ起きているがJR連合の力も頂きながら、やるべき事をしっかりとやっていき、一人でも多くの組織拡大につなげていきたい。政策課題において、2027年のアボルール改定が迫っており、他人事と考えず、課題認識を共有しながら取り組んでいき、労働条件では年末手当交渉が始まり、労働条件改善に向け本部とともに闘っていく」と訴えました。



半田議長



井形事務局長

来賓には、東海地協半田議長・東海地協井形事務局長・辻村中央執行委員長にお越し頂き、半田議長からは「JR産業において、重大労災が続いていることを危惧しており、安全確立に向け取り組みを強化していく。過日の参議院議員選挙においては、多くのご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。特に、静岡選挙区榛葉賀津也議員においては、連日、

選挙事務所へ応援に入って頂き、スタッフからも感謝の意を頂戴している。組織関係においては、これまで通り、連携を強化し積極的に取り組んでいくことをお約束したい」と述べられ、井形事務局長からは、「東海地協という組織をもっと使っていただいて、東海地区本部の運動をさらに盛り上げてほしい」と述べられました。

続いて、東海地区本部梅本書記長より、これまでの取り組み・予算関係・今後の運動方針（案）を提起し、質疑応答では、人事のあり方・熱中症対策・組織課題・予算関係・JR連合運動への取り組み・新沼津貨物駅開業時期・2026年ダイヤ改正・政治、政策課題・年末手当、2026春闘・誘導合図の変更等々について質疑があり、執行部・辻村委員長が挨拶を含めながら答弁を行い、最後に奥田委員長による「団結ガンバロー」を行い、大会を終えました。

なお、大会前に、労働金庫一宮支店にお越し頂き、勉強会を開催、大会終了後は、場所を移動して懇親会を開催し、さらなる親睦を図りました。



梅本書記長